

【平成 30 年 4 月 1 日から総合診療科に急性膵炎と診断され、治療を受けた患者さんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

急性膵炎*¹の前向き多施設観察研究

*1：急性膵炎（きゅうせいすいえん）とは、胆石やアルコールなど様々なことが原因で膵臓に炎症がおこる病気です。膵臓は消化酵素を分泌するなどの役割がありますが、膵炎を起こすと膵臓やその周囲の組織を消化し、重症化することがあります。

【研究背景・目的】

急性膵炎は 10 万人当たり、4.9-73.4 人に発生する頻度の高い疾患であり、全国調査でも急性膵炎全体の死亡率は 2.6%、重症例では 10.1%と高く、有効な治療法が求められている病気です。

この研究では、急性膵炎の治療法に関する項目や情報収集、治療経過の調査を目的に行います。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 29 年 1 月 1 日から平成 39 年 6 月 31 日
- ・対象：平成 30 年 4 月 1 日から平成 33 年 12 月 31 日までに総合診療科へ急性膵炎の診断で入院された治療を受けた患者さん
- ・取得情報、および他施設へ提供する情報：
 - ①患者背景：年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、腹痛など症状が出現した日時、膵炎として診断された日時、入院日、他院からの転院の有無、転送された日、糖尿病の合併している場合は、内服薬の有無、インスリンの使用の有無
 - ②膵炎の原因、③入院時、入院後の発症からの時間
 - ④膵炎診断時から 24-48 時間、48-72 時間の重症度判定基準 2008 の予後因子
 - ⑤血液検査、⑥痛み、体温・直腸温、平均動脈血圧、心拍・呼吸数、SpO₂、尿量
 - ⑦重症と診断された日時
 - ⑧治療内容：動注療法、輸液量、栄養、薬物、血液浄化療法、内視鏡的検査・治

療（ENPD チューブ留置、採石術、砕石術など）とその成否、ERCP 後膵炎の悪化の有無

⑨急性膵炎鎮静後：胆石性膵炎の場合、胆嚢摘出術

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出や他の研究施設への情報提供を望まない申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承ください。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

<飯塚病院>

研究責任者：飯塚病院 総合診療科 江本 賢

<共同研究施設における研究組織>

- ・主管施設名：慶應義塾大学医学部内科学 消化器科
- ・研究責任者：慶應義塾大学医学部内科学 消化器科 金井隆典
- ・この研究についての情報公開先(その他の共同研究施設)：

https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000028398

【問い合わせ先】

飯塚病院 総合診療科 江本 賢

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）